



平成 18 年 10 月 19 日

各 位

株式会社ブロッコリー
代表取締役社長 吉田眞市
(J A S D A Q ・ コード 2706)
問合せ先
取締役財務経理部長 是枝由美子
電話 03 - 5946 - 2824

平成 19 年 2 月期中間（連結・単独）業績予想との差異及び 通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年2月期(平成18年3月1日～平成19年2月28日)の業績予想について、平成18年4月19日付当社「平成18年2月期決算短信（連結）」及び同日付当社「平成18年2月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 2 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 18 年 3 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	4,070	70	92
今回修正 (B)	4,648	23	171
増減額 (B - A)	578	93	79
増 減 率	14.2%		

〔修正理由〕

売上高につきましては、店舗売上及び自社製品の売上が予算を上回り好調に推移した結果、4,648 百万円と予想比 578 百万円の増加、となりました。

経常利益につきましては、売上高の増加と販売費及び一般管理費の削減により、23 百万円の黒字となり、予想比 93 百万円の利益増加となりました。

当中間純利益につきましては、特別損失 252 百万円の計上により 171 百万円(当初予想比:

79百万円の損失増加)となる見込みであります。

尚、特別損失の内容につきましては、本日同時に発表しております「特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照下さい。

(2) 通期(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	8,738	90	50
今回修正(B)	9,290	92	140
増減額(B-A)	552	2	190
増減率	6.3%	0.2%	

〔修正理由〕

売上高は、製品の発売予定及び店舗売上高の見直しの結果、当初予想比552百万円増加となる見込みであります。

経常利益につきましては、仕入率の改善、原価の低減、経費の削減等に努力を重ねる方針ですが、新基準による評価減を考慮し、当初予想を2百万円上回る92百万円となる見通しであります。

当期純利益につきましては、中間期に計上した特別損失252百万円もあり、140百万円(当初予想比:190百万円の減少)となる見込みであります。

(3) ご参考:前期の実績(平成17年3月1日~平成18年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	経常損失	当期純損失
中間期(3/1~8/31)	3,928	434	926
通期(3/1~2/28)	8,016	630	1,479

2. 平成19年2月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成18年3月1日~平成18年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	3,998	72	94
今回修正(B)	4,585	37	160
増減額(B-A)	587	109	66
増減率	14.7%		

〔修正理由〕

修正の理由につきましては1.(1)をご参照下さい。

(2) 通期(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	8,516	85	45
今回修正(B)	9,103	89	137
増減額(B-A)	587	4	182
増減率	6.9%	4.7%	

〔修正理由〕

修正の理由につきましては1.(2)をご参照下さい。

(3) ご参考:前期の実績(平成17年3月1日~平成18年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	経常損失	当期純損失
中間期(3/1~8/31)	3,845	421	914
通期(3/1~2/28)	7,810	663	1,479

以上